

## △オンプレス吸入用カプセル [外]

【重要度】 【一般製剤名】 インダカテロール マレイン酸塩 Indacaterol Maleate 【分類】 吸入気管支拡張薬 [LABA]

【単位】  $\Delta 150 \mu\text{g}$ 吸入カプセル

【常用量】 1回1カプセル

【用法】 1日1回吸入 [専用のブリーズヘラーを使用し、毎日一定の時間帯に吸入]

7Cap 単位での処方が望ましい

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 COPD の長期管理に用いられる吸入剤。他の長時間作用型  $\beta 2$  刺激剤と併用しない。

【主な副作用・毒性】 低 K 血症、鼻咽頭炎、頭痛、心房細動、筋痙攣、末梢性浮腫、胸痛、回転性めまい、高血糖、筋肉痛など。吸入直後の咳嗽が 1~2 割に認められるが、気管支痙攣の発現や COPD の増悪、有効性の低下には関連しないとされる。

【F】 吸入 43%、経口 46% (1)

【tmax】 20min [吸入] (1)

【代謝】 CYP3A4 と UGT1A1 で代謝される (1) P-gp の低親和性基質である (1) 代謝物は水酸化、グルクロン酸抱合、酸化的開裂、N-脱アルキル化体 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1.6~1.9% [吸入] (1) 経口投与での尿中回収率 9.7% (1) 尿中未変化体排泄率 0.3%、尿中回収率 10% [po] (Kagan M, et al: Drug Metab

Dispos 40: 1712-22, 2012 PMID: 22648561)

【CL】 全身 CL 23L/hr、腎 CL 1.2~1.7L/hr (1)

【t1/2】 40~50hr (1)

【蛋白結合率】 94~95% (1)

【Vd】 2560L/man [iv] (1)

【MW】 508.56

【透析性】 除去率は低いと思われる (5)

【O/W 係数】 212.6 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (1)

【相互作用】 CYP3A4、P-gp 阻害剤であるリトナビル併用で本剤の AUC が 1.6~1.8 に上昇した報告あり (1)

【更新日】 20230601

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。